

鹿児島県立 鹿児島聾学校 専門実習・プール棟、 屋内運動場



所在地：鹿児島県鹿児島市下伊敷1丁目52番27号
敷地面積：18,802.23㎡
建築面積：5,077.21㎡
延床面積：10,170.66㎡
構造・規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
施主：鹿児島県
設計・監理：アーキプラン、アシスト、ワーク 設計・監理共同企業体
建設工事：専門実習・プール棟／森・松下 特定建設工事共同企業体
屋内運動場／上山建設㈱
電気工事：専門実習・プール棟、屋内運動場／株親和電機
完成：2015年1月

S329

既存校舎の老朽化に伴い鹿児島市下伊敷に建設を進めてきた鹿児島聾学校が2015年4月に移転開校。県内唯一の聾学校として聴覚障害のある幼児・児童・生徒が学びやすい学校施設となるよう計画されています。ここでは専門実習・プール棟、屋内運動場の照明設備を中心にご紹介いたします。

安全快適な学習環境を生み出す施設整備を基本方針として新築移転

明治36年の開校以来、県内唯一の聾学校として長年聴覚障害者教育の中心的な役割を担ってきましたが、建物の老朽化に伴い、鹿児島市下伊敷へ新築移転。管理棟や教育棟、食堂寄宿舎棟、専門実習・プール棟、屋内運動場などで構成しています。建物内部の各教室、廊下は木を基調とし、廊下腰壁には認定かごしま材を使用。また、各棟を貫くメイン廊下を設けて分かりやすくし、その軸を中心にそれぞれの教育ゾーンを配置していることにより明快な動線を生み出しています。

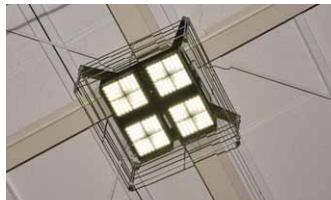
明るくやさしい快適な光環境の創出と同時に、省エネと環境に配慮した照明計画

専門実習教育が行われている被服科、理容科、製図科等の照明は、Hf32W×3灯用直付器具(特注)調光タイプを採用し、一般の教室と比較して2倍以上の明るさを確保。用途に応じて20%～100%まで連続調光で明るさの制御を可能にしています。廊下の照明は蛍光灯直付器具とLEDダウンライトを採用し、手すりを頼りに歩く児童生徒のためにも認識しやすい明るい移動空間を創出。木工加工・金工加工実習室は、高天井構造となっているため、250W形HID器具相当のLED高天井器具を分散設置。瞬時点灯・瞬時再点灯が可能ためこまめな節電を可能とし、また、長寿命光源により作業の困難な高天井でのメンテナンスコストを軽減しています。温水プールの照明は、両サイドの壁面上部にHID投光器キャドキューブ(簡易プール仕様)を設置。天井面に照射させ間接照明としてグレアを抑制した光で水面を照らすと同時に、緑と黄に配色したプールサイドと水面がはっきり識別できる明るさを確保しています。

体育授業、式典、文化祭などに多目的に活用されている屋内運動場は、人やボールの動きを音で判断する児童生徒への配慮として、有孔ボード壁で音の反響を軽減。照明は大幅な省エネと長寿命によるメンテナンスコストの削減を実現するLED高天井器具を均等配置(下面ガード+体育館用ガード)して平均照度600ルクスを確保し、均斉度も高めています。天井高のある武道場の照明は、器具光束7,650lmのLED一体形ダウンライト7500シリーズを採用。空間全体を明るく照らしながら、Hf蛍光灯器具比約58%の消費電力削減を可能にしています。



屋内運動場の照明 LED高天井器具(下面ガード+体育館用ガード付)を均等配置



LED高天井器具(1kWメタルハライドランプ高天井器具相当)



屋内運動場の側面側から対向面側を望むLED高天井器具



LED薄形ベースライト調光形を設置したステージの照明



武道場の照明はFHT57W×3灯用器具相当のLED一体形ダウンライト7500シリーズを採用

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
専門実習棟	FHF32×2蛍光灯器具	FHT-42404N-PK9	18	Hf32W蛍光灯×2
	FHF32×1蛍光灯器具	FHT-42404N-PK9	17	Hf32W蛍光灯×1
	FHF32×3蛍光灯器具	特注	49	Hf32W蛍光灯×3
	LED一体形ダウンライト1500シリーズ	LEDD-15021MN-LS9	25	LED 消費電力：14.6W
屋内運動場	LED高天井器具	LEDJ-10012N-DJ2	32	LED 消費電力：101W
	LED高天井器具	LEDJ-40041N-DJ2	10	LED 消費電力：404W
	LED高天井器具	LEDJ-20022N-DJ2	10	LED 消費電力：202W
武道場	LED一体形ダウンライト7500シリーズ	LEDD-75031N-LD9	16	LED 消費電力：70.5W